

### 発達障害理解のための講演会開催

世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」では『発達障害理解のための講演会』を平成21年度の設立以来開催しています。今号では中面にて、渡辺久子氏（慶應義塾大学医学部小児科専任講師）による「子どもの発達障害を考える～発達障害のある子どもの育ちと子育てについて～」をテーマに開催された講演についてお伝えします。

\*\*\*\*\* 子どもたちの育ちと心の安定 第2回 \*\*\*\*\*

### わかってもらえない不自由さ

発達障害の傾向があるお子さんは、しばしば自分の気持ちを人にうまく伝えることができず、自分をわかってもらうことの困難さを抱えています。

たとえば、課題を始めるにあたって、あるお子さんにボールペンを渡します。そのお子さんは書きながら「えんぴつつけずれてない？ えんぴつつけずれてない？」と繰り返します。「えんぴつで書きたかったの？」と聞くと初めて「えんぴつで書く」と自分の気持ちが表現できます。あるいは、おもちゃで遊んでいるところに他のお子さんが近づいてきておもちゃに手を出してくると、その場から離れて戸の開け閉めを始めるお子さんがいます。「これ～ちゃんが今遊んでいるから、触らないでね」と言ってあげて「～ちゃん、大丈夫だよ、遊べるよ」と言うと、戻ってくることができます。

このように、自分の要求をうまく伝えられなかったり、「いや」ということが言えなかったりします。お子さんの本当の気持ちをわかってあげて、代わりに表現してあげながら、その要求を満たしてあげることが大切です。そのことによってお子さんは、この人はわかってくれる、この人に向かって自分の気持ちを訴えていけばいいのだということを感じるでしょう。それが人とのつながりの第一歩になるのです。

（世田谷区発達障害相談・療育センター 相談・療育主幹 喜多 民子）

世田谷区発達障害  
相談・療育センター  
って どんどころ？

世田谷区在住の発達障害のある方、またはその疑いのある方、その家族、関係者を対象としています。また、世田谷区の発達障害に対する支援を推進するための中核的な拠点施設として関係機関への支援や、広く区民の皆様へ、発達障害について理解してもらうための活動をしています。